



富士山構成資産めぐりウォーク(山梨)

2014.11.09 16km ゆったり 11km

緊急時連絡

増田 敏幸 080-2612-4825

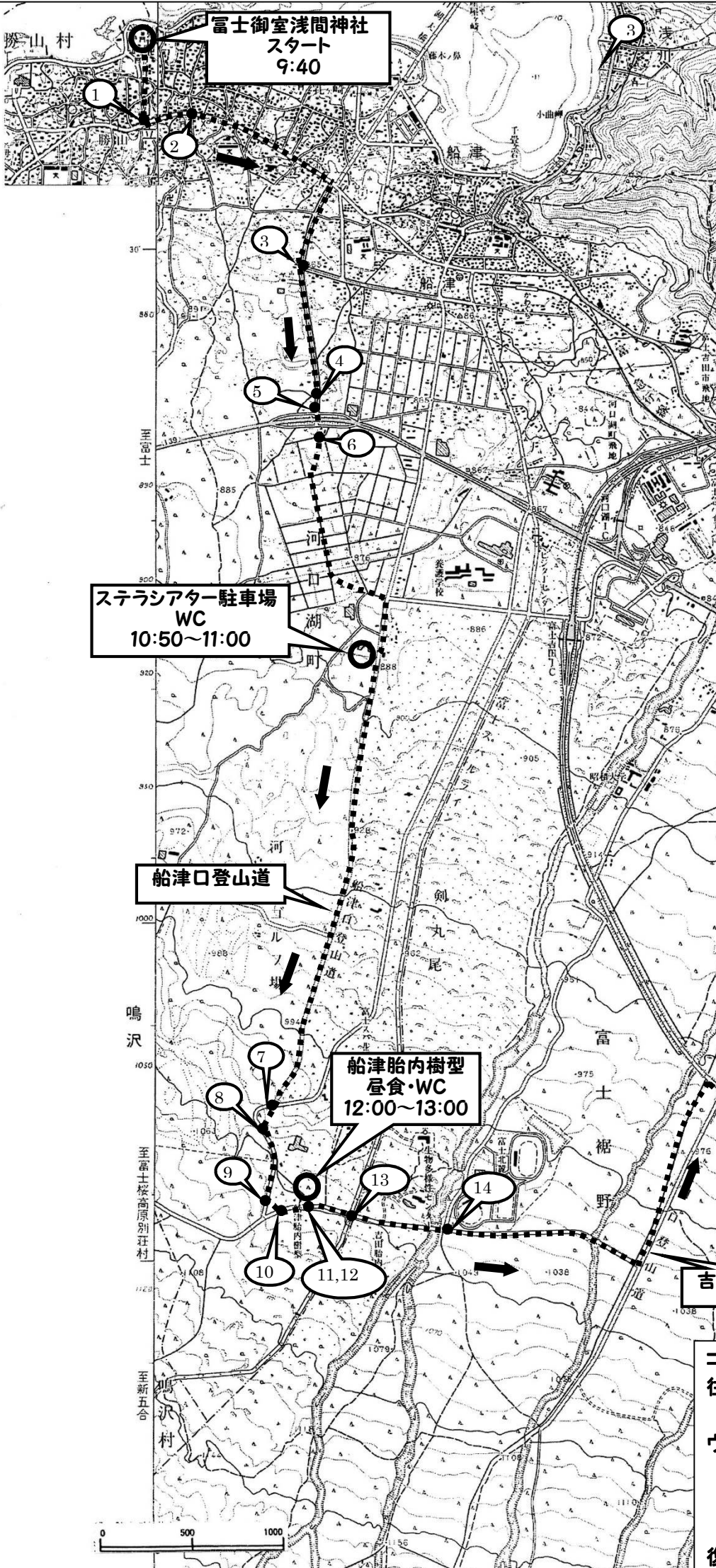
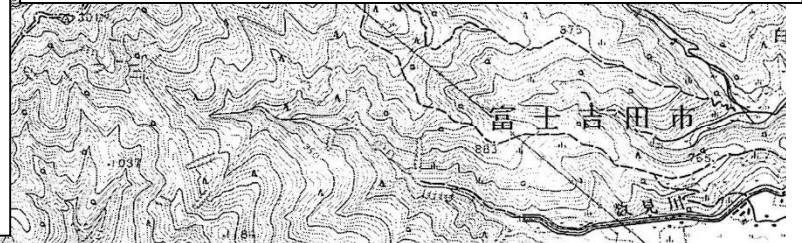
徳田 康子 090-5106-8098

コース紹介

世界遺産の構成資産の一つである富士御室浅間神社でお参りを済ませて、ウォーク開始です。参道を抜けてT字路に突き当たったら左折し、約1km歩いて河口湖大橋から来る大通りにぶつかったら右折して、この大通りに沿ってひたすら直進します。R139のガードをくぐって更に進むと富士河口湖町運動場があり、隣のステラシアター駐車場でトイレ休憩です。ここから、船津口登山道を富士山に向かって歩きます。緩やかな上り坂を4kmほど歩くと、構成資産である船津胎内樹型のあるフィールドセンターに着き、ここで昼食です。見事な胎内樹型で、一見の価値があります。ただし、足腰に自信のない方は奥の院までは行かないほうがいいでしょう。所要時間は数分です。入場料200円は個人負担をお願いします。午後は構成資産の吉田口登山道を下ります。遊歩道になっていますが、前半は石がごろごろしていますので、足元には十分ご注意ください。後半の歩きやすい遊歩道を下り、構成資産の北口本宮富士浅間神社に到着、ここがゴールになります。ゆったりは昼食後、フィールドセンターからバスでゴールに向かいます。

参加者の皆様へ

- 主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- 原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- 一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- 体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。



富士御室浅間神社

富士御室浅間神社は、山梨県南都留郡富士河口湖町にある神社。旧社格は県社で、現在は神社本庁の別表神社。全国にある浅間神社の一社。旧称小室浅間明神。「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」の構成資産の一部として世界文化遺産に登録されている。

胎内樹型

1617年に長谷川角行が富士登拝した際、北麓に洞穴(船津胎内樹型指定範囲内に点在する小規模な溶岩樹型のひとつと考えられる)を発見し、浅間大神を祀った。富士講信者によって、1673年には現在の船津胎内樹型が発見され、1892年には新たな「御胎内(おたいない)」として吉田胎内樹型が整備された。洞内には木花開耶姫命(このはなさくやひめのみこと)が祀られている。

北口本宮富士浅間神社

富士の噴火を鎮めるために建立されたのが始まりとされる由緒ある神社であり、富士登山の起点で吉田口登山道はここからスタートしている。国の重要文化財に指定されている東宮本殿は、武田信玄が再建されたものといわれている。祭神は木花開耶姫命(このはなさくやひめのみこと)、彦火瓊々杵命(ひこほのくにぎのみこと)、大山祇命(おおやまづみのみこと)である。現在の本殿は1615年(元和元年)に再建、1688年(貞享5年)に社殿を造修、本社殿は桃山時代の高荘な建造物として重要文化財に指定されています。また他にも文化財指定を受けている摂社東宮本殿・同西宮本殿、拝殿幣殿、及び神楽殿書院等がある。拝殿の前には、県指定の天然記念物の大スギ(吉野スギ)もそびえている。戦国時代以後、富士山登拝が盛んになると、その登山拠点としてこの社の地位は一層向上し、近世以降は富士講の隆盛を背景として境内はさらに整備され、今もその威容誇っている。

北口本宮富士浅間神社
ゴール・WC
14:20~50

次回申込 (車内で) 御殿場線19駅ウォーク(I)

- ☆期 日 12月14日(日)
- ☆集 合 富士宮駅南口 7:30
- ☆参加費 3500円
- ☆× 切 12月9日(火)

コース

往路(バス)	富士宮駅南口	==道の駅かつやま(WC・体操)==	富士御室浅間神社
	8:00	9:00~20	9:25~9:40
ウォーク	富士御室浅間神社(スタート)	・・・ステラシアター駐車場(WC)	
	9:40	10:50~11:00	
	船津胎内樹型(昼食・WC)	・・・北口本宮富士浅間神社(ゴール・WC)	
	12:00~13:00	14:20~14:50	
復路(バス)	北口本宮富士浅間神社	==道の駅・富士吉田==	富士宮駅南口
	14:50	15:10~15:40	17:00